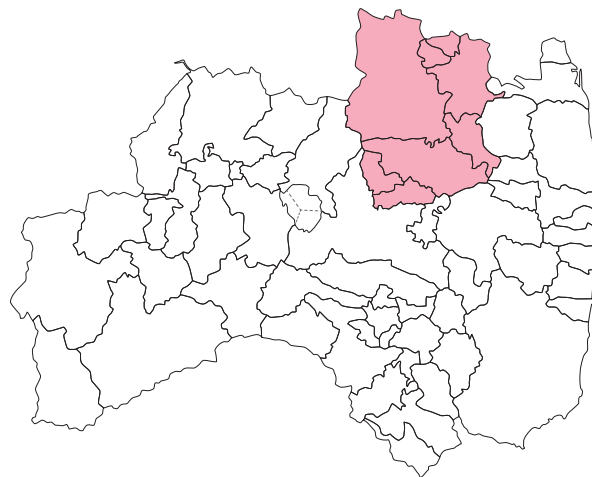


# 県北地域

福島市・二本松市・伊達市・本宮市・桑折町・  
国見町・川俣町・大玉村



## 1 地域の概要・特徴

概要	面積 <b>1,753.34km<sup>2</sup></b> (県全体の 12.7%)	地域内総生産 <b>1兆8,854億円</b> (県全体の 23.8%)
	世帯数 <b>188,185 世帯</b> (県全体の 25.3%)	人口 <b>462,134 人</b> (県全体の 25.5%) (年少 10.8% / 生産 56.0% / 高齢 33.2%)

特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>■福島県の<b>中通り北部</b>に位置</li> <li>■西に<b>吾妻・安達太良連峰</b>、東に<b>阿武隈高地</b></li> <li>■中心部を<b>阿武隈川</b>が流れている</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●政治・行政、教育・文化、医療等の都市機能が集積</li> <li>●本県を含む南東北 3 県の結節点に位置し、<b>東北新幹線・山形新幹線、東北自動車道、東北中央自動車道</b>といった高速交通網が充実</li> <li>●豊かな自然が織りなす<b>美しい景観</b>や<b>飯坂温泉、土湯温泉、岳温泉</b>といった数々の温泉地や「<b>福島わらじまつり</b>」、「<b>二本松の提灯祭り</b>」を始めとする伝統行事など多くの観光資源</li> </ul>

 <p>東北中央自動車道福島大笹生IC</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●産業構造の内訳（上位）                     <table border="1"> <tr> <td>製造業</td> <td>470,899 百万円 (25.0%)</td> </tr> <tr> <td>不動産業</td> <td>177,359 百万円 ( 9.4%)</td> </tr> <tr> <td>保健衛生・社会事業</td> <td>164,230 百万円 ( 8.7%)</td> </tr> </table> </li> <li>●情報通信、<b>輸送用機械産業</b>などの製造業が集積</li> <li>●農業では、<b>野菜</b>や<b>県内最大の生産額を誇る果樹</b>を中心とする北部地域、<b>稲作</b>が主体の南部地域、<b>畜産等</b>が盛んな中山間地域に分けられる</li> </ul>	製造業	470,899 百万円 (25.0%)	不動産業	177,359 百万円 ( 9.4%)	保健衛生・社会事業	164,230 百万円 ( 8.7%)
	製造業	470,899 百万円 (25.0%)					
不動産業	177,359 百万円 ( 9.4%)						
保健衛生・社会事業	164,230 百万円 ( 8.7%)						
 <p>もも受粉作業</p>							

## 2 地域の課題

### — 県北地域の目指す方向性 —

豊かな自然や都市機能、交通インフラをいかし、地域経済を支える産業の振興や多彩な交流を通じた地域活性化を図るとともに、誰もが安心して暮らせる環境づくりを進めます。

### 地域の課題

#### 課題1 安全で安心な暮らしの確保

- 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりが求められています。
- 国内有数の産地である果物を始めとする農産物や加工食品に対する安全・安心が求められています。
- 不登校やいじめ対策、障がいのある子どもたちへの一貫した支援など、学びのセーフティネットの充実が求められています。
- 生涯にわたり心身ともに健康で生活できるよう、子どもの頃からの健全な食生活とともに、運動習慣の定着及び健康診断の受診率向上が求められています。
- 医療、介護・福祉分野における人材不足に対し、その育成・確保が急務となっています。

#### 施策1

「誰もが安心していきいきと暮らせる環境づくり」を図ります。

[P.159 へ](#)

#### 課題2 人口減少社会における地域の維持・活性化

- 人口の減少や高齢化の進行により、地域活力の低下と地域コミュニティの維持が課題となっています。
- 自然・食・温泉などの魅力の発信による観光・交流人口の拡大及び外国人観光客の受入態勢の整備が求められています。

#### 施策2

「多彩な交流を通じた地域の活性化」を図ります。

[P.159 へ](#)

## 地域の課題

### 課題 3 地域産業の振興と人材の育成・確保

- 地元大学の持つ学術研究機能、恵まれた交通インフラ等のポテンシャルを最大限にいかした幅広い産業の育成・集積が求められています。
- 幅広い産業で人材が不足しており、その育成・確保が課題となっています。
- 農林業における生産者が意欲を持って経営できるよう、担い手の育成や収益性の高い経営・生産方式の導入、高付加価値化や鳥獣被害対策が求められています。
- 事業主の高齢化や後継者不足による廃業や空き店舗が増えており、地域経済の衰退や商業機能の低下が危惧されています。

#### 施策 3

「地域経済を支える産業の振興、  
人材の育成・確保」を図ります。

[P.160](#) へ

### 課題 4 持続可能な生活を支える環境の整備

- 東日本大震災からの復興・創生を支え、新たな交流を生み出す道路ネットワーク及び地域生活を支える社会基盤として、道路整備が求められています。
- 台風や集中豪雨に伴う洪水等大規模な自然災害に対応するため、消防団を中核とした地域防災体制の維持や市町村と連携した命を守る行動につながる情報発信が求められています。
- 大規模災害時においても、住民生活や生産活動に必要な機能が維持されるとともに、速やかに復旧できる災害に強い社会基盤の整備が求められています。

#### 施策 4

「災害に強く、持続可能な  
生活を支える基盤の整備」を図ります。

[P.161](#) へ

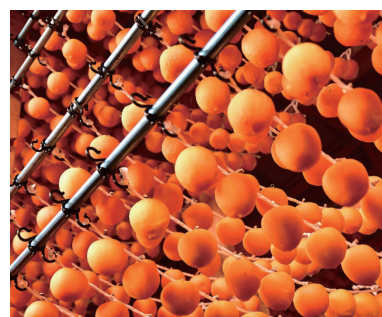
## 主要施策

### 施策 1 | 誰もが安心していきいきと暮らせる環境づくり

- 妊婦、乳幼児を持つ保護者や子育て世代を対象に健康や子育てに関する相談に応じるとともに、市町村が設置する子育て世代包括支援センターの機能充実等の取組を積極的に支援します。
- 放射性物質対策の視点を組み入れたふくしま県 GAP (FGAP) の推進やふくしま HACCP の導入促進とともに、県北地方ならではのブランド力の強化に取り組み、食の安全の確保と風評払拭を図ります。
- 悩みを持つ児童や生徒などがいつでも相談できるよう、専門家による支援を実施します。
- 障がいのある子どもたちに対して切れ目のない支援を行うなど、安心して学ぶことができる環境の充実に取り組みます。
- 市町村や関係機関、企業と連携しながら、バランスの良い食生活や減塩、適度な運動、検診受診の大切さについて普及啓発を図ります。
- 地域や職場等において食生活の改善を推進する者の養成に取り組みなど住民の健康づくりを推進します。
- 地域の保健・医療・福祉の関係機関と連携を強化し、良質な人材の育成・確保を図るため、充実した教育カリキュラムの策定や効率的な教育体制の構築に向けた取組を進めます。



FGAPロゴマーク



あんぽ柿



スクールカウンセラー・スーパーバイザーによる教職員への助言

### 施策 2 | 多彩な交流を通じた地域の活性化

- 福島市を中心とする連携中枢都市圏形成を視野に入れた取組や各市町村、民間団体等の取組と連携しながら、県北地方に伝わる文化や歴史などの「誇り」となる資源に新たな光を当て、地域を元気にするために住民が主役となって行う個性と魅力ある地域づくりを支援します。
- ライフスタイルの多様化や地方移住への意識の変化を踏まえた移住相談会や体験ツアーを実施するなど移住・定住を推進します。



移住セミナー

- 交通アクセスの優位性をいかしてテレワークやワーケーションの誘致に向けた環境づくりを進めるなど地域間交流による関係人口の増加に取り組みます。
- 小学校・中学校・高校それぞれの教育課程において、県北地方の歴史、文化や伝統行事等の理解を深める学習活動など、将来の地域コミュニティを担う人材等の育成に取り組みます。
- 吾妻・安達太良連峰を始めとした自然・風景、全国的に有名な温泉などの四季を通じた魅力を更に広めるため、国内外に向けて SNS や動画による情報発信に取り組みます。
- ももを始めとする果樹など農作物の収穫やイベント参加などの体験メニューの充実による着地型観光を推進します。
- 県北ならではの温泉、食や体験を外国人観光客向けの観光素材として取り込んだ周遊コース、ガイド・マップの作成など外国人の誘客促進に取り組みます。



もも



高校生観光ガイド養成講座(花見山での実践研修)

### 施策 3 | 地域経済を支える産業の振興、人材の育成・確保

- 一定の集積が進んでいる輸送用機械・情報通信用機械産業のほか、再生可能エネルギー、医療関連産業やロボット関連産業等の成長産業について、県内外との交通アクセスの更なる充実や教育・研究を担う大学が多数立地するなどの地理的な優位性をいかし、様々な主体と連携しながら、企業誘致や人材育成を図ります。
- 小学校段階からの継続的なキャリア教育を推進し、特に県立高校においては、大学等と連携した特色あるコース制の取組(体験学習、特別講座など)を通じた職業観や進路意識の醸成、進学や就職に向けた指導の充実を図ります。
- 企業の取組や働く若者の姿など、地域に根ざした企業で働くことの魅力を高校生及び保護者向けに発信することにより、地元への就職促進を図ります。
- 新規就農者の技術習得や農地確保等を地域全体で支援する体制づくりを進めます。
- 先端技術の導入による農林業の生産拡大や省力化、地域産業6次化などを推進し、所得の向上を図ります。
- 農作物等の鳥獣被害防止を図るため、遊休農地の解消や森林整備、防護柵の設置、生息環境管理など、地域ぐるみによる総合的な対策を進めます。
- 地域経済を取り巻く今後の環境変化を踏まえ、経営者に対するセミナー等を通して、創業・事業承継を促進します。
- 空き店舗を活用した起業支援等により、商店街の活性化を含めた地域の魅力向上につなげます。



キャリア教育の様子



センサーカメラで撮影されたイノシシ



企業向けセミナー

## 施策 4 | 災害に強く、持続可能な生活を支える基盤の整備

- 国道 114 号及び国道 349 号などのふくしま復興再生道路、東北中央自動車道へのアクセス道路など、地域資源を結び県内外の広域交流を促進する道路を整備します。
- 通勤・通学、福祉施設や医療機関へのアクセスなど日常生活を支え、地方創生や地域間の交流連携に資する地域連携道路の整備を推進します。また、事故、渋滞が発生する交差点や通学路の歩道整備など、地域の安全で円滑な通行を確保します。
- 頻発する大規模な自然災害に対応するため、河川への危機管理型水位計や監視カメラの設置、洪水浸水想定区域図の作成などを通じて、地域住民の命を守る行動につながる分かりやすい情報を発信します。
- 市町村等との連携の下、企業や団体を訪問し、消防団への入団協力を要請することにより消防団員の確保に努めるなど、地域防災体制を維持・強化します。
- 激甚化する自然災害から県民の命・財産、生活や経済活動等を守るため、県有施設やため池等の老朽化・耐震化対策、河川の整備や土砂災害防止対策、道路の無電柱化など、災害に強い社会基盤の整備を推進します。
- 里山の環境保全や水源涵養（かんよう）、土砂流出防止など森林の有する多面的機能の維持・増進を図ります。



ふくしま復興再生道路(国道349号)



放水訓練



河川の整備(安達太良川)